

# 12月は日本映画の名作が盛りだくさん！！

『やくざ映画入門』刊行記念『仁義なき戦い』だけではない！

(春日太一著/小学館新書)

## やくざ映画の楽しみ方

上映スケジュール(黄色の部分はアンコール上映)

12/1(水)	日本侠客伝 昭和残侠传 死んで貰います	11:35/15:20/19:05 9:45/13:30/17:15/21:00(終映22:30)
12/2(木)	博奕打ち いのち札 博奕打ち 総長賭博	11:30/15:15 9:40/13:30/17:15(終映18:50)
12/3(金)	山口組外伝 九州進攻作戦 日本暴力列島 京阪神殺しの軍団	10:30/14:30 12:35/16:35(終映18:10)
12/4(土)	博奕打ち いのち札 博奕打ち 総長賭博 ※オールナイトにて関連上映あり	9:40/13:40/17:40 11:45/15:45/19:40(終映21:15)
12/5(日)	現代やくざ 人斬りや太 仁義の墓場 ※モーニングにて『竜二』上映	15:20/19:05 13:25/17:10/20:55(終映22:30)
12/6(月)	日本侠客伝 昭和残侠传 死んで貰います	11:40/15:25 9:50/13:35/17:20(終映18:50)
12/7(火)	日本暴力列島 京阪神殺しの軍団 山口組外伝 九州進攻作戦	10:40/14:40/18:40 12:35/16:35/20:35(終映22:20)
12/8(水)	現代やくざ 人斬りや太 仁義の墓場	11:40/15:25 9:45/13:30/17:15(終映18:50)
12/9(木)	緋牡丹博徒 緋牡丹博徒 お竜参上	10:40/14:40/18:40 12:40/16:40/20:40(終映22:20)
オールナイト		
12/4(土)	網走番外地 望郷篇   緋牡丹博徒   仁義の墓場   竜二 ※上映前に春日太一さん(時代劇・映画史研究家)のトークショーあり	開場21:40/開映22:00(終映5:55)
モーニング		
12/5(日)	竜二	開場10:40/開映11:00(終映12:30)

### TALK SHOW

12/4(土)オールナイト 上映前  
春日太一さん  
(時代劇・映画史研究家)

2021.12.1<水>～9<木>

## 名匠たちに愛された女優 デビュー70周年 岡田茉莉子

上映スケジュール(12月15日～18日はアンコール上映)

12/10(金)	女の坂 女舞	10:20/14:30/18:40 12:30/16:40/20:50(終映22:30)
12/11(土)	集金旅行 モダン道中 その恋待ったなし	17:30 19:35(終映21:10)
12/12(日)	今年の恋 バナナ	11:50/15:25/19:00 10:00/13:35/17:10/20:40(終映22:10)
12/13(月)	渦 熱愛者	11:35/15:20/19:05 9:40/13:25/17:10/20:55(終映22:30)
12/14(火)	別番組を上映	
12/15(水)	女舞 女の坂	10:30/14:35/18:40 12:30/16:35/20:40(終映22:25)
12/16(木)	モダン道中 その恋待ったなし 集金旅行	10:40/14:40/18:40 12:35/16:35/20:35(終映22:20)
12/17(金)	バナナ 今年の恋	9:45/13:15/16:45 11:35/15:05/18:30(終映19:50)
12/18(土)	熱愛者 渦	10:30 12:30(終映14:00)

2021.12.10<金>～18<土>



12月14日は四十七士、  
討ち入りの日!

## 忠臣蔵 (大映)

上映スケジュール

12/14(火)	忠臣蔵	9:45/12:50/15:55/19:00(終映21:45)
----------	-----	---------------------------------

### TALK SHOW

12/14(火)最終回終映後  
春日太一さん  
(時代劇・映画史研究家)

2021.12.14<火>(1日のみ上映/1本立て)

感動はスクリーンから **新文芸坐** 35mm映写機、絶賛稼働中!

**12月1日(水) 6日(土)**

**昭和残侠传 死んで貰います**(1970/92分/DCP)カラー/シネスコ

【監】マキノ雅弘【脚】大和久守正【撮】林七郎郎【出】高倉健、池部良、藤純子、中村錦之助、長門裕之、荒木道子、加藤嘉、山本麟一

賭場の斬り合いで傷ついた秀次郎を通りかかった芸者の卯、幾江が助ける。数年後出所した秀次郎は息子であることを隠し盲目の母が営む料理屋へ戻るが……。傘、銀杏の木、卯焼き、道行の道具立て、名場面に感涙必至、マキノ炸裂の1本。 ©東映

**12月1日(水) 4日(土)**

**現代やくざ 人斬りと太**(1972/88分/35mm)カラー/シネスコ

【監・脚】深作欣二【脚】石松愛弘【撮】仲沢半次郎【出】菅原文太、渚まゆみ、安藤昇、小池朝雄、三谷幸、室田日出男、待田京介

深作が「約束に振り回されているやくざ映画じゃどうしようもない」と考え、組織に抗するチンピラを主人公にした本作。「仁義なき戦い」への助走となった文太も「一番印象に残る作品であり、深作と議論しながら撮影に挑んだ」と述懐する。 ©東映

**12月1日(水) 6日(土)**

**日本侠客伝**(1964/98分/DCP)カラー/シネスコ

【監】マキノ雅弘【脚】笠原和夫、野上龍雄、村尾昭【撮】三木滋人【出】高倉健、中村錦之助、三田佳子、松方弘樹、津川雅彦、藤純子

岡田茂が時代劇風の任侠映画を製作しようと考え、笠原が「忠臣蔵」をベースに書いた脚本から生まれた高倉の代表作にして11本に及ぶシリーズの第1作。深川木場を舞台に情緒たっぷりの描写は「いなせ」な世界を謳い、続けたマキノの真骨頂。 ©東映

**12月5日(日) 4日(土) 6日(土)**

**仁義の墓場**(1975/94分/DCP)カラー/シネスコ

【監】深作欣二【原】藤田五郎【脚】鴨井達比古、松岡寛夫、神波史男【撮】仲沢半次郎【出】梅若也、多岐川裕美、渡辺辰夫、ハナ肇

戦後の復興に叛くように暴れ、破滅した伝説のヤクザ・石川力夫。(辞世の句「大笑い三十年の馬鹿騒ぎ」)病氣療養からの復帰第1作、点滴を打ちながら演じた渡の鬼鬼のようたる者者を圧倒する実録映画の極北。キネ旬8位。 ©東映

**12月1日(水) 4日(土)**

**博奕打ち 総長賭博**(1968/95分/DCP)カラー/シネスコ

【監】山下耕作【脚】笠原和夫【撮】山岸長樹【出】鶴田浩二、若山富三郎、藤純子、桜町弘子、金子信雄、名和広、三上真一郎

跡目争いをモチーフに、義理の範から逃れられない人間を描く悲愴曲。ギリシャ悲劇を意識したという笠原の緻密な脚本と緊張感漲る演出。三島由紀夫が「隔々まで人間の真実に叶っている」と絶賛したことも有名な任侠映画の最高峰。 ©東映

**12月5日(日) 4日(土) 6日(土)**

**緋牡丹博徒**(1968/98分/35mm)カラー/シネスコ

【監】山下耕作【脚】鈴木則文【撮】古谷伸【出】藤純子、高倉健、若山富三郎、待田京介、清川虹子、山本麟一、金子信雄、大木実

岡田茂の「女の任侠映画を」という注文に、脚本の鈴木は「純子がそれまで演じた多くの無名の女たちの無念さを代表して闘う女をつた」と語る。白、赤、黒と変わる牡丹の花に娘から女を捨てて渡世人へと生きる宿命が象徴される。 ©東映

**12月2日(木) 4日(土)**

**博奕打ち いのち札**(1971/106分/35mm)カラー/シネスコ

【監】山下耕作【脚】笠原和夫【撮】吉田貞次【出】鶴田浩二、安田道代、若山富三郎、水島道太郎、渡瀬恒彦、遠藤辰雄、天本英世

姉さんと代貸として再会したかつて愛合った女と男。冬の直江津海岸の哀切きわまりないシーンから、血に縛られた世界を脱し至上の愛を選びとるシュールなラストまで山下演出が冴え渡る。やくざ映画の意匠を借りた恋愛映画の大傑作! 必見! ©東映

**12月9日(木)**

**緋牡丹博徒 お竜参上**(1970/100分/DCP)カラー/シネスコ

【監】加藤泰【脚】鈴木則文【撮】赤塚滋【出】藤純子、菅原文太、若山富三郎、嵐寛寿郎、沢村国太郎、山岸映子、近藤洋介、安部徹

一世を風靡した人気シリーズの第6作目にして最高傑作。かつて助けた盲目の少女を探して浅草を訪れたお竜は六区の縄張り争いに巻き込まれる。彼方に凌雲閣が霞み、純子が文太に蜜柑を手渡す雪の今戸橋のシーンは伝説の名場面! ©東映

**12月1日(水) 7日(火)**

**山口組外伝 九州進攻作戦**(1974/106分/35mm)カラー/シネスコ

【監】山下耕作【原】飯干晃一【脚】高田宏志【撮】山岸長樹【出】菅原文太、渡瀬恒彦、梅波哲郎、渚まゆみ、宮宸夫、松方弘樹

大阪で暴れまわる一匹狼のやくざが博多に追いやられ、さらに暴走、周囲を抗争の緊張に震え上がらせる。夜桜銀次と呼ばれ、破滅に向かって突き進む実在の鉄砲玉を文太が狂熱的に演じる。その一方、山下らし「花」が印象的に使われる。 ©東映

**12月4日(土) 5日(日) 6日(土)**

**網走番外地 望郷篇**(1965/88分/35mm)カラー/シネスコ

【監・脚】石井輝男【原】伊藤一【撮】稲田喜一【出】高倉健、桜町弘子、嵐寛寿郎、田中邦衛、杉浦直樹、安部徹、林田マージョ

橋が墓参りに訪れた故郷で出会った混血児のエミーとの交流、殺し屋ジョーが吹く口笛を通じて母の主題が色濃く現れた本作。舞台となった長崎の異国情緒も効果をあげ、高倉をスターに押し上げた当シリーズ中でも傑作の声が多い。 ©東映

**12月3日(火) 7日(火)**

**日本暴力列島 京阪神殺しの軍団**(1975/93分/35mm)カラー/シネスコ

【監】山下耕作【脚】松本功、野波静雄【撮】山岸長樹【出】小林旭、梅宮辰夫、伊吹吾郎、成田三樹夫、中島ゆたか、室田日出男

悪徳隊あがりの花木と金光は大組織の勢力拡大の尖兵となるが、使い潰されることに反発する。輸血のシーンや、「満鉄小唄」など、二人が在日であるという血の問題が基底に流れる異色作。ラストのナレーションが差別の歴史と社会を告発する! ©東映

**12月5日(日) 4日(土) 6日(土)**

**竜二**(1983/92分/35mm)カラー/ビスタ

【監】川島透【脚】鈴木明夫(=金子正次)【撮】川越通彦【出】金子正次、永島映子、もも、北公次、佐藤金造、岩尾正隆、高橋明

ヤクザの竜二は愛する妻子との幸福な暮らし、閃光のように生きる渴望の間で揺れ動く。60年代の任侠ものからヤクザ映画を覗きこんでいた金子は自身の脚本でも主演するも、公開直後に33歳で早逝する。キネ旬6位、助演女優賞。激必見! ©1983 monica

デビュー70周年 岡田茉莉子 名匠たちに愛された女優 2021.12.10(金)~18(土)

**12月10日(金) 15日(金)**

**女の坂**(1960/107分/35mm)カラー/シネスコ

【監】吉村公三郎【原】沢野久雄【脚】新藤兼人【撮】宮島義典【出】佐田啓二、乙羽信子、中村錦之助、高千穂ひづる、河内桃子、森美樹

老舗銘菓店を継いだ明恵。恋を諦め、伝統を守る決心をする明恵の凛とした表情、自立する女性像を体現した岡田は女性映画の名匠・吉村の演出に「思うようにリードされていた」と語る。宮島のカメラによる美しい京都の街並みも見どころ。必見! ©1960松竹株式会社

**12月12日(日) 17日(金)**

**今年の恋**(1962/82分/35mm)白黒/シネスコ

【監・脚】木下恵介【撮】楠田浩之【共】吉田輝雄、田中正和、浪花千栄子、三遊亭円遊、東山千栄子、野村胡堂、三木のり平、石川竜二

お互いの弟が成績不良なのは友達のせいと思いきも美加子と正。反発しながら次第に惹かれ合う王道ラブコメディだが、語り口の妙と軽快なテンポで心地良い後味を残す佳篇。勝負な下町娘をいさよと演じた岡田はキネ旬女優賞を受賞した。 ©1962松竹株式会社

**12月11日(土) 9日(木)**

**女舞**(1961/100分/35mm)カラー/シネスコ

【監・脚】大庭秀雄【原】円地文子、秋元松代【脚】柳井隆雄【撮】長岡博之【共】佐田啓二、若下志麻、宮口精二、千之赫子、杉田弘子

舞踏家の千弥は新作のため、能楽師に稽古をつけてもらううちに恋におちる。幼い頃から日本舞踊を習っていた岡田がラストで披露する「葵の上」には涙みすら感じる。岡田が企画を提案した本作は反応も良く、「熱愛者」プロデュースの機会につながる。 ©1961松竹株式会社

**12月13日(日) 18日(土)**

**バナナ**(1960/90分/35mm)カラー/シネスコ

【監】渋谷実【原】獅子文六【脚】斎藤良輔【撮】長岡博之【共】津川雅彦、尾上松緑、村春子、宮口精二、小沢栄太郎、三井弘次

シャンソン歌手志望のサキ子とそれを応援する竜馬だが、お互いの親のバナナ輸入の利権を巡り大混乱に。渋谷流ドライコメディに岡田もキュートな魅力全開! ラストで歌う「青ブクの唄」(作曲・黛敏郎)は岡田の唯一のレコードとなった。 ©1960松竹株式会社

**12月11日(土) 9日(木)**

**集金旅行**(1957/103分/35mm)カラー/シネスコ

【監】中村登【原】井伏鱒二【脚】椎名和夫【撮】生方敏夫【共】佐田啓二、花菱アチャコ、西村晃、伊藤雄之助、小林トシ子、桂小金治

アパートの大家が亡くなり、住人の良平と千代は部屋代の集金旅行に出発する。岡田は芸達者な喜劇人たちに刺激され「私自身もアドリブ演技を楽しむようになった」と回想する。コメディエンスとしても開眼した岡田の松竹専属契約第1作。 ©1957松竹株式会社

**12月13日(日) 18日(土)**

**渦**(1961/90分/35mm)白黒/シネスコ

【監】番匠義匠【原】井上靖【脚】笠原良三、富田義朗【撮】生方敏夫【共】佐田啓二、若下志麻、佐分利信、仲谷昇、石川竜二、須賀不二男

戦災孤児の少年の面倒を見る伊沙子は、夫の洪介に思いを寄せる若い女性の存在を知り動揺する……。岡田が人妻を演じ、共演の多い佐田啓二息子の夫婦を演じるのが新機軸。佐田の役が洋画輸入会社の経営者というのも興味深いメロドラマ。 ©1961松竹株式会社

**12月14日(日) 13日(日)**

**モダン道中 その恋待たなし**(1958/93分/35mm)カラー/シネスコ

【監・脚】野村芳太郎【脚】山田洋次【撮】井上晴二【共】佐田啓二、高橋貞二、桑野ゆき、桂小金治、花菱アチャコ、坂本武、三井弘次

『集金旅行』の好評で企画されたが、あまりの悪ふざけに野村が1年近く干された伝説の爆笑ロードムービー。東北から北海道を旅する二人の青年と知り合う娘?に扮する岡田の美しい衣装も見もの。映画の常識を覆すナレーションも◎。超必見! ©1958松竹株式会社

**12月13日(日) 18日(土)**

**熱愛者**(1961/95分/35mm)カラー/シネスコ

【監】井上と男【原】中村真一【脚】新藤兼人【撮】堂島謙博【共】芥川比呂志、桑野ゆき、月丘夢路、宇野重吉、乙羽信子、山村聰

「女舞」の成功で訪れた初プロデュース作。「演じるだけでなく映画そのものに夢中だった」岡田はそれまで自身が出たメロドラマと違うものを狙い、原作を選んだ。二人だけの愛を純粋に貫くにはエゴイズムに過ぎないのかを問かける野心作。 ©1961松竹株式会社

**12月14日(日)**

**忠臣蔵**(大映)【1本立て】

【監・脚】渡辺邦男【脚】八尋不二、民門敏雄、松村正通【撮】渡辺孝【出】長谷川一夫、市川雷蔵、淡島千景、勝新太郎、滝沢修、山本富士子、京マチ子

長谷川が大石内蔵助を貫禄たっぷりに演じたオールスター大作。オーソドックスな展開に、各スターの見せ場がもれなく散りばめられる。赤垣源蔵徳利の別れなど講談でお馴染みのエピソードもふんだんに盛り込み、「忠臣蔵」入門として最道、日本映画最盛期の昭和33年に年間興収1位を記録した。 ©AKODAWA 1958

**新文芸坐** 豊島区東池袋1-43-5 マルバノ池袋ビル3F 池袋東口徒歩3分 TEL:03-3971-9422  
http://www.shin-bungeiza.com (twitter, instagramアカウント) shin\_bungeiza

①入場料金《2本立て》一般:1450円、学生:1350円、シニア:1200円、友の会:1150円、ラスト1本:1000円(シニア・友の会:950円)  
②【オールナイト(全席指定)】一般:2800円、友の会:2600円 ③【モーニング(全席指定)】一般:1300円、学生・友の会・シニア:1100円

※①は当日券のみ販売。②③は上映1週間前10:00よりオンライン・当館窓口にて販売開始(オンライン+50円)。オンラインでの販売は上映の30分前まで。以降の席状況はお問い合わせください。  
※1本立ての日は、ラスト1本割引はございません。●プリントによっては、映像や音声の状態が悪い場合があります ●上映開始15分以降のご入場は、ご遠慮下さい ●館内全席禁煙